

会 議 録

(10 - 1)

会 議 の 名 称		令和 6 年度 第 3 回 春日部市立医療センター運営委員会	
開 催 日 時		令和 7 年 2 月 12 日（水）	開 会 午後 1 時 30 分
			閉 会 午後 2 時 00 分
開 催 場 所		春日部市立医療センター 3 階 多目的ホール	
議長（会長等）氏名		鬼丸 裕史（委員長）	
出席者	委員氏名	（出席人数：13 人）	
		木下 三枝子、永田 飛鳳、石川 友和、阿部 雅一、中村 貴彰、	
		鬼丸 裕史、吉田 稔、荒木 洋美、竹田 広樹、遠藤 賢、	
		今井 良仁、村田 睦剛、高橋 靖	
	説明者 その他	（出席人数：6 人）	
		病院事業管理者 三宅 洋、病院長 有馬 健、	
		副院長 中村 靖史、看護部長 笠原 洋子、事務部長 仙波 宏幸	
		健康保険部長 松本 英彦	
	事務局	（出席人数：7 人）	
		事務部次長兼総務課長 神谷 司、経営財務課長 渡邊 正樹、	
		管理課長 今井 達哉、医事課長 桑原 隆、	
		看護専門学校副学校長 高橋 和恵、	
		看護専門学校総務担当課長 関根 等、	
	経営財務課経営財務担当主幹 古宮 敦己		
	次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1 報告事項 ① 令和 6 年度春日部市病院事業会計補正予算（案）について：公開 ② 令和 7 年度春日部市病院事業会計予算（案）について：公開 ③ 令和 6 年度春日部市立看護専門学校特別会計補正予算（案）について：公開 ④ 令和 7 年度春日部市立看護専門学校特別会計予算（案）について：公開 ⑤ 春日部市立医療センター運営状況について：公開
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第 3 条第 1 号該当： ☐ 要綱第 3 条第 2 号該当： ☐ 要綱第 3 条第 3 号該当： ☐ 要綱第 3 条第 4 号該当：	

配 布 資 料	① 令和 6 年度第 3 回春日部市立医療センター運営委員会資料 ② 運営委員会に係る質問及びご意見について
会議録の作製方法	☐ 録音テープ等を使用した全文記録
	☒ 録音テープ等を使用した要点記録
	☐ 要点記録
会議録署名の指定	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局 病院事業管理者 事務局	【開会】 ただいまから令和 6 年度第 3 回春日部市立医療センター運営委員会を開会いたします。 それでは、開会にあたりまして、病院事業管理者よりご挨拶申し上げます。 【病院事業管理者 挨拶】 本日は、令和 6 年度第 3 回春日部市立医療センター運営委員会の開催にあたり、委員の皆様一言ご挨拶申し上げます。 平素より当センターの運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本日は、令和 7 年度病院事業会計予算（案）をはじめとする重要な議題についてご審議をお願いする運びとなっております。何卒よろしくお願い申し上げます。 さて、当センターを取り巻く経営環境は、人件費の増大や物価高騰の影響などもあり、依然として厳しい状況にございますが、下半期（10 月）以降の運営状況といたしましては、入院・外来を合わせた収益は、前年度を大きく上回る状況で推移し、病床稼働率や救急車来院数、手術件数についても増加しており、コロナ禍前の状況に戻りつつあります。今後も地域医療の連携強化を図りながら、より効率的な経営を目指して職員一丸となって努力してまいります。 また、昨年末からインフルエンザや新型コロナウイルスといった感染症が猛威を振るっており、最近はずいぶん落ち着いてきておりますが、現在も感染者はまだ多い状況が続いております。そのため、当センターでは感染症対策を強化しながら、地域の皆様に迅速かつ安全な医療を提供するべく、取り組んでおります。委員の皆様におかれましても、感染対策を強化していただき、健康には十分にご留意いただきたいと存じます。 結びに、本日の議題につきまして、委員の皆様からのご助言とご審議を賜りますようお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。 ここで会議についてご報告いたします。本日は委員 14 名中 13 名が出席し、運営委員会条例第 6 条第 2 項の規定に基づく定足数

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	に達しておりますので会議が成立することをご報告いたします。 それでは、条例第 5 条第 2 項の規定に基づき、議事の進行を委員長をお願いいたします。 委員の皆様のご意見、賜りたいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。 議事に入る前に、春日部市附属機関等の会議の公開に関する要綱第 3 条の規定に基づき、本日の議事は、すべて公開することとしましたのでご報告いたします。 また、本日の会議には、傍聴の申し込みはございませんでした。
議 長	【議事】 それでは、議事に入らせていただきます。 議事の (1) は報告事項でございます。 なお、今回も感染予防対策の一環として、会議時間を可能な限り短縮するため、事前質問の形式をとらせていただきました。円滑な議事の進行に、ご協力をお願いいたします。
議 長	はじめに、病院事業会計予算に関する事項 2 件を一括議題といたします。 事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いいたします。
事務局	それでは、まず令和 6 年度春日部市病院事業会計補正予算につきまして、説明いたします。 補正予算につきましては、「収益的支出 3 条予算」の給与費につきまして、補正するものでございます。給与費につきましては、人事院勧告に伴う給与改定分として、1 億 6,882 万 5 千円を増額するものでございます。 令和 6 年度春日部市病院事業会計補正予算の説明は以上です。
事務局	続きまして、令和 7 年度病院事業会計予算について、説明させていただきます。 はじめに「収益的収入及び支出 3 条予算」につきましては、収入合計を前年度比較 5 億 5,657 万 1 千円増の 131 億 2,278 万 9 千

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	円、支出合計を前年度比較 4 億 9,575 万 1 千円増の 136 億 739 万 5 千円と見込んでおり、収支差引きは、4 億 8,460 万 6 千円のマイナスとなる予算を編成しております。現金を伴わない収支を除いた「差引きキャッシュベース収支」では、7,206 万 2 千円のマイナスとなるものです。 次に「資本的収入及び支出 4 条予算」につきましては、収入合計を前年度比較 2,192 万 1 千円減の 7 億 177 万 5 千円、支出合計を前年度比較 484 万 9 千円増の 11 億 5,056 万 3 千円、収支差引きは、4 億 4,878 万 8 千円のマイナスでございます。 これらの結果、3 条・4 条予算を合わせた「キャッシュベース収支」は、5 億 2,085 万円のマイナスを見込んでおります。 次に、予算の主な内容につきまして説明いたします。収益的収入の、入院・外来収益につきましては、経営強化プランの令和 7 年度の目標値をもとに算出しております。 入院収益につきましては、前年度比較 3 億 714 万 7 千円増の 73 億 2,573 万 2 千円、年間延患者数 106,945 人、1 日平均では 293 人 外来収益につきましては、前年度比較 1 億 2,461 万円増の 39 億 5,186 万円、年間延患者数は 171,820 人、1 日平均では 710 人を見込んだところでございます。 次に、支出について前年度比較 4 億 9,575 万 1 千円の増となったところですが、前年度との比較で金額が大きなものとしては、給与費が 3 億 2,114 万 5 千円の増、経費が 1 億 1,094 万 2 千円の増、となっています。 給与費につきましては、職員数については大きな変更はなく、主な要因としましては、令和 6 年度人事院勧告を踏まえた給与改定に伴う給料及び手当の増額によるものでございます。 経費につきましては、主に委託料におきまして、施設設備保守業務、清掃業務、警備業務などの委託について、契約更新に伴う人件費の高騰などにより増額となったものでございます。 次に「資本的収入及び支出 4 条予算」について説明いたします。 主な変更点として、収入の「企業債」につきましては、患者受入れ体制の強化や高度医療提供体制の充実を図るため、令和 7 年度におきましても企業債を活用し、高額医療器械の更新を行うものです。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	支出の「資産購入費」においては、4 億 2,500 万円を計上し、通常更新分の他に企業債を活用して、平成 21 年度に購入した X 線 TV 装置や一般撮影装置、平成 22 年度に購入した CT 装置などの高額医療器械の更新を見込んでいるものです。 令和 7 年度予算についての説明は以上です。 なお、病院事業会計予算に関する事前質問はありませんでした。
議 長	ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。
委 員	《特になし》
議 長	ご質問等が無いようでしたら、病院事業会計予算につきましては、以上とさせていただきます。
議 長	続きまして、看護専門学校特別会計予算に関する事項 2 件を一括議題といたします。 事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。
事務局	令和 6 年度春日部市立看護専門学校特別会計補正予算（案）につきましてご説明申し上げます。 補正の概要につきましては歳入・歳出予算の総額から歳入・歳出それぞれ 368 万 2 千円を減額し、歳入・歳出とも 1 億 6,631 万 2 千円とするものでございます。 はじめに歳出について説明申し上げます。総務費 368 万 2 千円の減につきましては人件費におきまして令和 6 年人事院勧告に伴う給与改定などにより 208 万 5 千円増になる一方、一般管理事務では需用費、負担金などにおいて 576 万 7 千円の不用額が生じたため総務費全体で 368 万 2 千円を減額するものでございます。 次に歳入でございます。繰入金 368 万 2 千円減につきましては、ただいま申し上げました歳出の減に伴いまして一般会計からの繰入金を減額するものでございます。 補正予算に関する説明は以上でございます。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	つづきまして、令和 7 年度春日部市立看護専門学校特別会計予算（案）について説明申し上げます。 歳入・歳出の総額をそれぞれ 1 億 7,414 万 6 千円と定めるもので、前年度比 859 万 1 千円 5.2%の増を見込んでおります。 はじめに歳出の主な内容について説明いたします。総務管理費 1 億 7,020 万 6 千円につきましては看護専門学校の職員 15 人分の人件費と学校の運営管理に要する経費でございます。前年度比 859 万 1 千円 5.3%の増となっております。主な理由といたしましては人件費で教員の退職とその欠員補充による新採用職員の給与の差による 168 万 9 千円の減となる一方、一般管理事務で施設の需用費や負担金などで増となりまして 1,028 万円の増になるものでございます。 公債費につきましては校舎の増改築にかかる償還金です。償還元金と償還利子に 6 万円の増減がございますが総額としては前年度と同額を償還するものでございます。 諸支出金、予備費につきましては、例年どおりの設定となっております。 次に歳入の主な内容について説明いたします。使用料及び手数料 1,616 万 2 千円、前年度比 76 万 8 千円の減につきましては、授業料減免対象者が多くなる見込みによって設定したものでございます。 繰入金 1 億 5,778 万 4 千円、前年度比 935 万 9 千円の増につきましては、一般会計からの繰入金でございますが、歳出額の増に応じまして繰入金を増額するものでございます。 看護専門学校特別会計予算についての説明は以上でございます。 なお、看護専門学校特別会計予算に関する事前質問はございませんでした。
議 長	ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。
委 員	事前に一読したときには気がつかず、質問を出していなかったのですが、お聞きしたいことが二点あります。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	まず、補正予算の歳出について、一般管理事務の主な補正理由に「職員にかかる総合事務組合負担金の減」とありますが、この理由についてお伺いします。 もう一点は、当初予算の歳入について、使用料の主な増減理由に「高等教育の修学支援新制度」とありますが、これについてお聞かせください。
議 長	事務局から、答弁をお願いします。
事務局	はい。まず補正予算の「職員にかかる総合事務組合負担金の減」についてですが、これは職員の退職手当組合負担金でございます。令和5年度に定年を迎える職員がおり、その職員に対する特別負担金が翌年度の8月頃に請求される仕組みとなっています。しかし、当該職員が定年退職せずに継続勤務したため、特別負担金の請求が発生せず、結果として減額となったものです。 つづきまして、当初予算の「高等教育の修学支援新制度」は、令和2年度に国が開始した制度です。概要としては、日本学生支援機構による奨学金に「給付型」、「貸与型（無利子）」、「貸与型（有利子）」の3つの形態があり、このうち「給付型」を利用する学生が本校に入学した場合、入学金7万円および授業料年額16万6千8百円が減免されます。令和7年度は、この給付型奨学金の対象となる学生が増加する見込みであり、歳入を減額するものです。
議 長	他にございますか。
委 員	《特になし》
議 長	ご質問等が無いようでしたら、看護専門学校特別会計予算につきましては以上とさせていただきます。
議 長	続きまして、春日部市立医療センター運営状況に関する事項を議事といたします。 事務局より説明並びに、事前質問への回答をお願いします。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	春日部市立医療センター運営状況について、説明いたします。 前回の委員会で今年度の4月から9月の上半期の状況を説明しておりますので、今回は10月から12月の第3四半期の状況を中心に説明いたします。 はじめに「入院の状況」でございます。 1日平均入院患者数は、4月から9月におきましては、250人から270人台を推移しておりましたが、10月以降は、290人を超えて推移しており、前年度や上半期の患者数と比較すると、増えている状況でございます。病床利用率で申し上げますと、10月以降は3か月連続で80%を超えて推移しており、非常に良い状態を維持出来てます。 入院収益額につきましても、入院患者数・手術件数の増によりまして、10月以降は5億円台後半で推移し、12月は6億円を超えている状況で、前年度や上半期の収益額を上回って推移しています。 次に「外来の状況」でございます。 1日平均外来患者数は、10月以降は680人を超えて推移しており、12月は今年度初めて700人を超えました。発熱外来の休止や選定療養費の徴収の影響により、令和5年度の実績は下回っておりますが、下半期の外来患者数は上半期の実績を大きく上回って推移しております。 外来収益額につきましては、やはり外来患者数が減少していることが影響して、発熱外来を休止した6月以降、収益は令和5年度より減少しておりましたが、10月以降は2億9,000万円から3億1,000万円台で推移しており、12月は令和5年度実績を上回る事が出来ました。 「救急の状況」につきまして、10月以降の救急車での来院数は、常に300件を超える数値で推移し、特に12月は救急を421件受け入れて、今年度最高値を大幅に更新しており、令和5年度と比較しましても、受入れ件数は大幅に伸びているところでございます。 受入れ率につきましても、10月以降は60%を超える高い数値で推移しており、こちらにつきましても、令和5年度の数値を上回る状況が続いております。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	「手術の状況」につきましては、令和 5 年度と比較してほとんどの月で大幅に増となっており、10 月以降も 270 件を超える数値で推移しています。 「分娩の状況」につきましては、12 月までの合計が、令和 5 年度の 243 件に対して令和 6 年度は 224 件となっており、令和 5 年度よりも若干少ない数値で推移しております。 運営状況についての説明は以上でございます。 なお、春日部市立医療センター運営状況に関する事前質問はありませんでした。
議 長	ただ今、事務局から説明のありました事項につきまして、ご質問等がございましたら承りたいと思います。
委 員	《特になし》
議 長	ご質問等が無いようでしたら、春日部市立医療センター運営状況につきましては以上とさせていただきます。
議 長	以上で本日の議事等は、すべて終了いたしました。 委員の皆様のご協力ありがとうございました。 これで、進行を事務局にお返しいたします。
事務局	それでは、以上をもちまして、令和 6 年度第 3 回春日部市立医療センター運営委員会を終了とさせていただきます。 委員の皆様、誠にありがとうございました。

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 7 年 2 月 26 日

署名者の職・氏名

春日部市立医療センター運営委員会 委員長 鬼 丸 裕 史